

「びわほなみ」の穂肥施用時期を迎えています！

1. 気象および小麦の生育状況

降雪・低温により一時生育は停滞しましたが、現在は平年並となっています。播種時期により生育に差があるため、ほ場ごとの生育に応じた管理が必要です。

2. 収量確保に向けた穂肥

基肥に麦用セラコート R2500 や速効性肥料を施用しているほ場では、穂肥が必要です。穂数と1穂粒数を増やし、収量を確保するために、茎立期に穂肥を施用しましょう。播種時期やほ場条件により穂肥時期が異なるため、麦の生育状況を確認し、適期に施用しましょう。滞水しているほ場では、湿害により肥料の吸収が抑制されるため、溝の点検や補修を行い、湿害を防ぎましょう。

●穂肥時期（茎立期）の目安

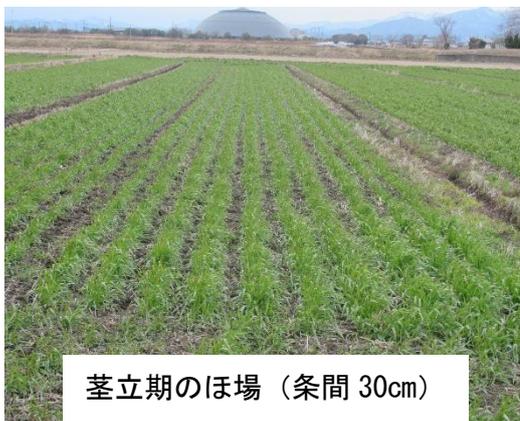
播種日	穂肥時期の目安
11/5	2/5 頃
11/10	2/15～2/20 頃

●施用資材の例

基肥	麦用セラコート R2500	30kg/10a
穂肥	麦用セラコート R2500	40kg/10a

※一発肥料（麦パンチなど）やその他の資材を使用されている場合は当課にお問い合わせください。

茎立期：麦の葉が直立し始め、地際から幼穂までの長さが2cm 程度の時です。



播種時期が遅く、茎立期が3月上旬以降になる場合は、茎立期を待たずに3月上旬までに穂肥を施用しましょう。